

平成 30 年 1 月 16 日
市民部創造都市・文化振興課

浜松科学館展示リニューアル及び管理運営事業における 優先交渉権者の決定について

1 事業名 浜松科学館展示リニューアル及び管理運営事業

2 事業期間

(1) 設計・製作・設置期間

業務委託契約締結日～平成 31 年 6 月 30 日 (予定)

(2) 供用開始日

平成 31 年 7 月 1 日 (予定)

(3) 維持管理・運営期間 (指定管理期間)

平成 31 年 7 月 1 日～平成 41 年 3 月 31 日 (10 年間)

3 選定方法 公募型プロポーザル方式

4 審査結果 (平成 29 年 12 月 19 日実施)

参加グループ	総合評価 (満点:1,000 点)
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体 (代表者:株式会社乃村工藝社)	797.5 点
丹青社・コングレグループ (代表者:株式会社丹青社)	771.0 点
サイエンス・フューチャー浜松 (代表者:株式会社トータルメディア開発研究所)	749.0 点

5 優先交渉権者 乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

6 提案価格 2,880,998,280 円 (消費税及び地方消費税額を含む)

*本事業におけるプロポーザル審査委員会が最優秀提案を選定、その結果を受け、本市がその者を優先交渉権者として決定したものです。

*プロポーザル審査委員会による審査結果に関する詳細については、後日「審査講評」として公表する予定です。

7 最優秀提案の概要

(1) 事業コンセプト（事業提案書より）

○グランドコンセプト「浜松・サイエンスベースキャンプ」

－ 自ら考え、対話し、行動する。【科学×挑戦】の活動基地 －

- ・ 知的好奇心を刺激し、子供も大人もともに科学に親しむ機会を提供
- ・ 知識の獲得にとどまらず、さまざまな方法で考え、チャレンジすることを重視
- ・ 浜松の先人の姿と現代の技術へのつながりを追体験し、社会に貢献する大きな夢を持つことを促す
- ・ 科学館がハブとなり、浜松の教育機関、産業界と連携・協働を進める
- ・ 科学技術の最先端を体感し、次代を担う子供たちの創造力や挑戦する心を育む

(2) 提案の特徴（事業提案書より）

- 各分野（自然・音・光・力・宇宙・新技術）において、能動的、双方向性を核とした「アクティブ・ラーニング」の理念により、科学への探求心を深め、未来創造の力へとつなげる展示を実現
- サイエンスステージやワークショップスペースを備えるとともに、各分野を有機的につなぎ、活動の拠点となる「ベースキャンプコア」を中2階（施設中央吹き抜け空間）に配置
- 「新技術」は、メインブース（2階）のほか、移動型ワゴンや1階特設コーナーで展開
- サイエンスパークには、エントランスへと続くウッドデッキ（天竜川をモチーフ）を新設、夜間には青色LEDのライトアップで「天野リバー（天の川）」を演出
- 世界初の成長するAI科学学習情報システムを導入
- ロケット打上げや宇宙飛行士帰還時などのパブリックビューイングや研究者を招いてのトークイベント、音楽とのコラボイベント等を企画
- 展示やプラネタリウム、ラボでの実験等の学校向けプログラムを開発、要望・相談に応じ実施、科学館を利用した学年別、単元別の授業の実施方法等を紹介する冊子の製作や事前学習のための教材貸出等を実施
- 人財育成に関わる機関や企業等のネットワークの「ハブ」機能を科学館が担い、“オール浜松”での人づくりの推進を目指すとともに、国内外の多様な機関等と連携し、ネットワークの拡大を図る。
- 県内最大のメディアグループを活用しながら、地域、市民と一体となって、科学への好奇心を刺激し、来館を促進する広報プロモーションを実施

8 今後のスケジュール

平成30年1月～平成31年6月 基本計画、展示設計・製作・設置、開館準備

平成31年7月 リニューアルオープン（予定）

9 展示イメージ（事業提案書より）

■展示「音」コーナー（2階）



■ベースキャンプコア
/サイエンスステージ（中2階）



■カフェ
/サイエンスライブラリー（1階）



■サイエンスパーク（屋外）

